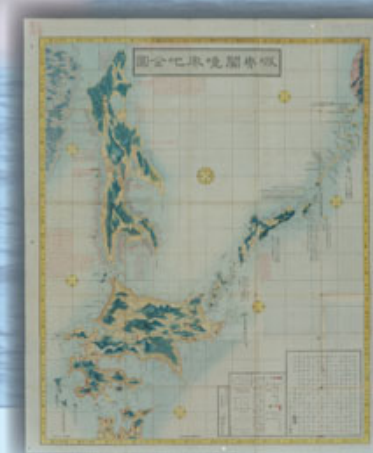


令和3年度 デジタル図録

北方領土関連資料

かけがえのない記憶を未来へつなぐ



独立行政法人北方領土問題対策協会

デジタル図録がめざすもの

No! 風化! 北方領土を知る資料、かけがえのない記憶を未来へ

戦後75年を越えた今を、まさに、北方領土関連の貴重な実物資料収集のラストチャンスと捉え、令和3年秋、北方領土関連資料収集事業をキックオフしました。

散逸・滅失の危機にある北方領土資料を未来へつなぐために、「北方領土を知る資料」を体系的・網羅的に収集していく計画です。

初年度、事業環境を把握、事業の広報、パイプ、ネットワークづくりを行うなかで、皆様のご賛同、ご協力を頂き、わずか数ヶ月で500点以上もの貴重な資料の収集を実現しました。

今回の収集事業では、デジタル図録で広く国内外の多様な世代の皆様に、北方領土を知っていただくことを目指しています。

ご寄贈いただいた資料のほか、本年度は、北方領土に係る地図資料も特定のテーマとして収集いたしました。

江戸時代からの地図資料、そして、皆様からご提供いただいた貴重な資料により、北方領土が、日本列島の大切な一部であり、そこには、日本の豊かな文化と生活、島民の皆様のかけがえのない人生、社会があったということを実感していただければと願っております。

ご協力、ご寄贈いただきました皆様に心より感謝申し上げますと共に、今後とも、さらなるデジタル図録の充実と活用へ、皆様のご支援をお願い申し上げます。

独立行政法人 北方領土問題対策協会

北方領土関連資料収集事業事務局
オスカー・ジャパン株式会社

目次

1. 資料	
1) 生活用具・土器・書類	4
2) 写真	3 3
3) 地図	1 9 4
2. 資料目録	3 5 1
3. 編集後記	3 6 5

* デジタル図録には、令和 3 年度に収集した資料より書籍・記事、重複等を除き掲載しております。

本図録掲載以外の資料につきましては、資料目録をご覧ください。

1. 資料

1) 生活用具・土器・書類



資料名	どてら
資料整理番号	a-1_00252
地域情報	歯舞群島 備考：多楽島
作成・発行時期	明治～大正期
寄贈者/入手元	岩崎 美和子氏
資料の寸法 cm	90(H)×130(W)×2(D)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>故東狐貢氏の「どんざ」(どてら)は娘の岩崎美和子氏により寄贈された。東狐貢氏は歯舞群島多楽島のフルバツに住んでいた。祖父(与三松)と祖母(スマ)の代に富山県から島に開拓に来たという。本品は与三松氏が富山県から島に開拓に来た時に着てきたもので、その後も愛用した、百年以上前のものである。当時は日常使いされていたが、貢氏は大事な思い出の品として長年大切に保管し、集会の際に着ていたことから、特に多楽島出身の方々にとっては馴染み深い。布地の弱くなったところに補強のために様々な布を当ててある。どんざは江戸後期から昭和初期を中心に、漁師が行商や祝いの席、作業着に使い、漁師の妻や母親が、海の安全や商売繁盛を願い、時間をかけて手作りした。</p>



資料名 根室国後間海底電信線(海底ケーブル)

資料整理番号 a-2_00554

地域情報 国後島 択捉島
備考：

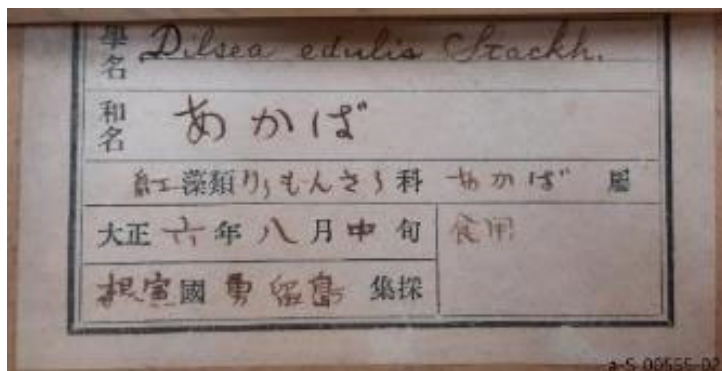
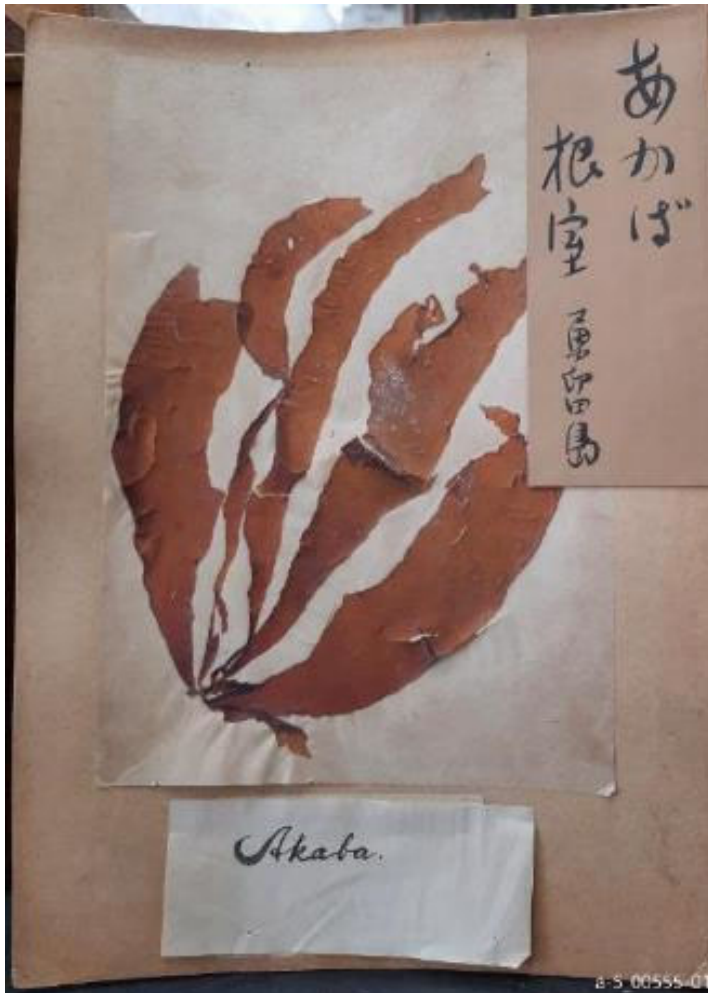
作成・発行時期 1900年／明治33年

寄贈者/入手元 根室市北方領土対策部

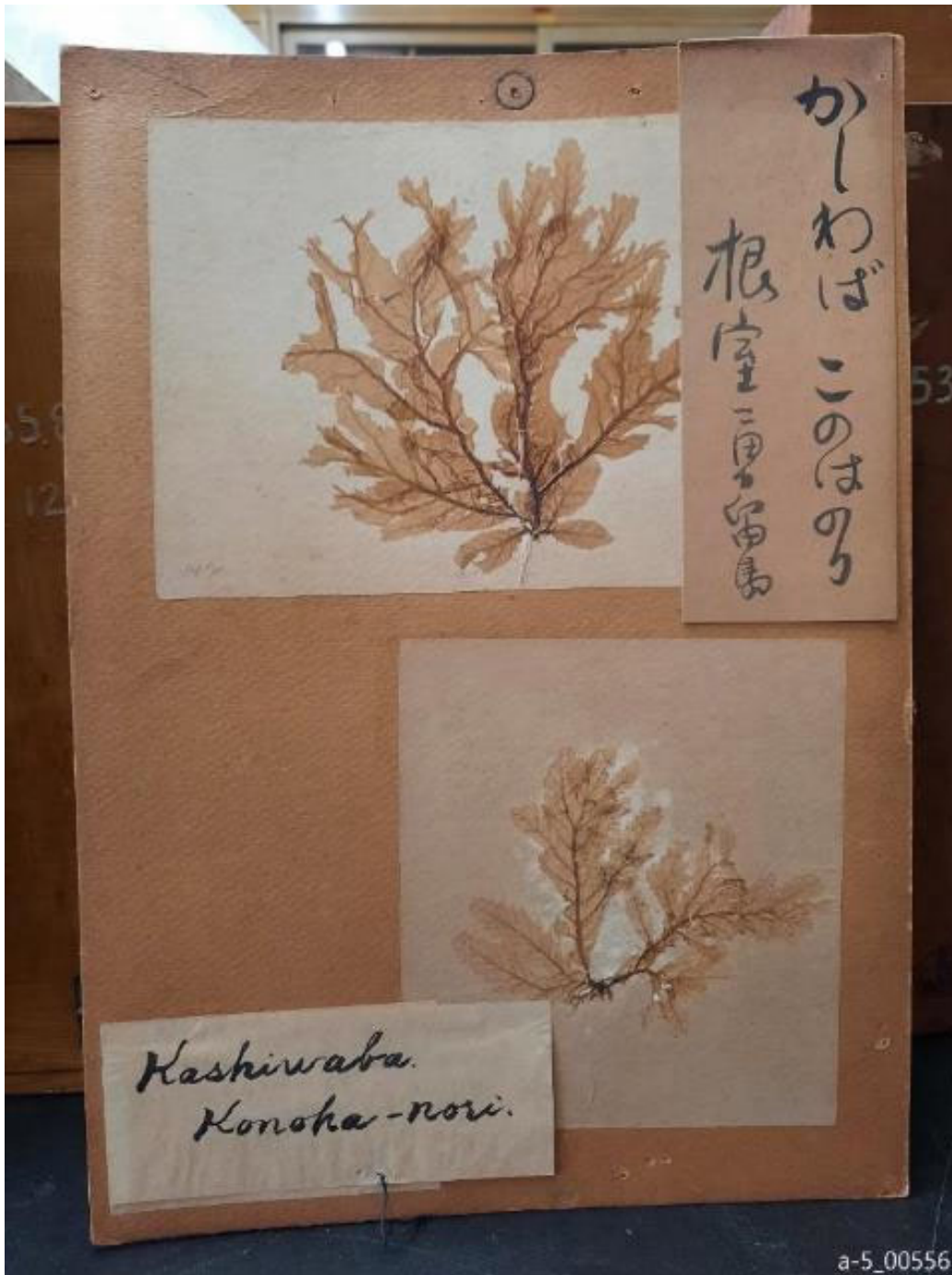
資料の寸法 cm 6(H)×6(W)×200(D)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 明治30年代、通信連絡手段の確保のため、北海道本島から択捉島薬取村までの電信線架設事業が実施され、明治33年には「根室村ハッタラ～国後島ケラムイ」が敷設された。ハッタラとケラムイ間に敷設された海底ケーブル線は英国製で、中心に2本の導線があり、導線の周りはゴムで覆われ、その外側を約1cmの麻のような繊維が覆い、さらに外周を1本約5ミリメートルの鉄線13本が覆って保護している。(根室市北方領土対策部Webサイトより抜粋)
<https://www.city.nemuro.hokkaido.jp/lifeinfo/kakuka/hoppouryoudotaisakubu/hoppouryoudotaisakuka/2/8384.html>



資料名	海藻 アカバ(赤葉)(画像データ)
資料整理番号	a-5_00555
地域情報	歯舞群島 備考：勇留島
作成・発行時期	1917年8月／大正6年8月
寄贈者/入手元	学校法人成城学園管財課
資料の寸法 cm	40.5(H)×29(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道・本州太平洋岸北部・樺太・千島及び北方領土に分布する海藻。成城学園に所蔵された経緯は不明。かつて理科の標本を多く所蔵し展示室を持っていることがステイタスだったため収集された。成城学園では2016年に新しい中学校校舎が完成し、新校舎では展示スペースの不足により、現在は倉庫に所蔵されている。標本には紐がついており展示など教育現場で使われていた。アカバについて「大正6年8月中旬、勇留島、食用」と説明があるが、他の海藻についても同様に勇留島で採取されたものである。



資料名	海藻 カシワバコノホリ(柏葉木葉海苔) (画像データ)
資料整理番号	a-5_00556
地域情報	歯舞群島 備考：勇留島
作成・発行時期	1917年8月／大正6年8月
寄贈者/入手元	学校法人成城学園管財課
資料の寸法 cm	40.5(H)×29(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道・本州太平洋岸北部・樺太・千島及び北方領土に分布する海藻。成城学園に所蔵された経緯は不明。かつて理科の標本を多く所蔵し展示室を持っていることがステイタスだったため収集された。成城学園では2016年に新しい中学校校舎が完成し、新校舎では展示スペースの不足により、現在は倉庫に所蔵されている。標本には紐がついており展示など教育現場で使われていた。アカバについて「大正6年8月中旬、勇留島、食用」と説明があるが、他の海藻についても同様に勇留島で採取されたものである。



資料名	海藻 ベニフクロノリ(画像データ)
資料整理番号	a-5_00557
地域情報	歯舞群島 備考：勇留島
作成・発行時期	1917年8月／大正6年8月
寄贈者/入手元	学校法人成城学園管財課
資料の寸法 cm	40.5(H)×29(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	北海道・本州太平洋岸北部・樺太・千島及び北方領土に分布する海藻。成城学園に所蔵された経緯は不明。かつて理科の標本を多く所蔵し展示室を持っていることがステイタスだったため収集された。成城学園では2016年に新しい中学校校舎が完成し、新校舎では展示スペースの不足により、現在は倉庫に所蔵されている。標本には紐がついており展示など教育現場で使われていた。アカバについて「大正6年8月中旬、勇留島、食用」と説明があるが、他の海藻についても同様に勇留島で採取されたものである。



資料名	土器/後北C 1 式土器
資料整理番号	a-6_00253
地域情報	択捉島 備考：留別村／ウエンシリ砂丘
作成・発行時期	続縄文文化(3世紀頃)
寄贈者/入手元	深谷 義裕氏
資料の寸法 cm	(高さ)7.94×(口径)6.79×(底径)3.44
所蔵先	北方領土問題対策協会

備考
採取：1926～1945年頃
材質：粘土
重さ：127.47g

この土器は、小形の深鉢土器の完形品である。口縁部は、紐状の粘土が貼付けられ、胴部には粘土で装飾されている。文様は、斜行する縄文と微隆起文、三角列点文が施されている。底部は、やや上げ底となっている。土器の表面には、炭物が付着している。

資料分析・解説 右代 啓視氏

《深谷コレクションの概要》

このコレクションは、続縄文文化の後北C₁式土器(3世紀頃)とオホーツク文化のオホーツク式土器(7世紀末頃)をはじめとして、石器48点、その他4点が所有者の深谷義裕氏から令和4(2022)年1月19日に寄贈を受けた貴重な考古資料である。この考古資料は、父深谷善清氏が所有し、ご子息の義裕氏が受け継いだ択捉島留別村ウエンシリ砂丘などで発見された埋蔵文化財である。択捉島留別で暮らしていた当時、善清氏が親類の三上一郎氏から譲り受けたものである。一郎氏は、択捉島留別村を中心に遺跡調査や考古資料を収集し島の郷土史を調べていました。また、祖父素一氏、父宅市氏、ご子息の洋一氏と四代にわたり、島の歴史を大切に守っていた。



資料名	土器/オホーツク式土器
資料整理番号	a-6_00254
地域情報	択捉島 備考：留別村／ウエンシリ砂丘
作成・発行時期	オホーツク文化(7世紀末頃)
寄贈者/入手元	深谷 義裕氏
資料の寸法 cm	(高さ)8.7×(口径)5.69×(底径)3.94
所蔵先	北方領土問題対策協会

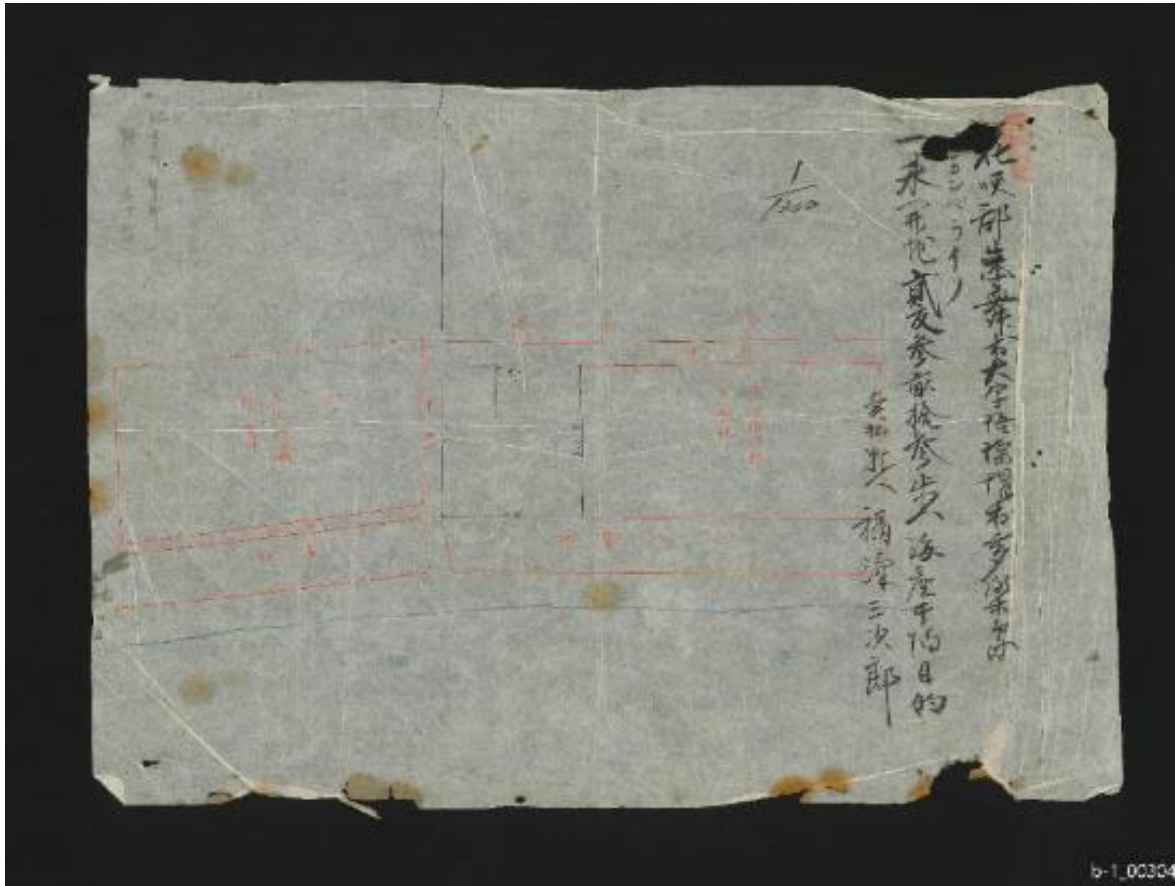
備考
採取：1926～1945年頃
材質：粘土
重さ：114.92g

この土器は、小形の壺形土器の完形品である。口縁部は肥厚帯となり、頸部を有し、胴部は張出した器形である。文様は、肥厚帯の下部に斜行する刻文、胴部に並行する刻文が施されている。土器の表面は、磨き調整がなされ、内面も同様である。また、胴部から底部にかけ、炭化物が付着している。

資料分析・解説 右代 啓視氏

《深谷コレクションの概要》

このコレクションは、続縄文文化の後北C₁式土器(3世紀頃)とオホーツク文化のオホーツク式土器(7世紀末頃)をはじめとして、石器48点、その他4点が所有者の深谷義裕氏から令和4(2022)年1月19日に寄贈を受けた貴重な考古資料である。この考古資料は、父深谷善清氏が所有し、ご子息の義裕氏が受け継いだ択捉島留別村ウエンシリ砂丘などで発見された埋蔵文化財である。択捉島留別で暮らしていた当時、善清氏が親類の三上一郎氏から譲り受けたものである。一郎氏は、択捉島留別村を中心に遺跡調査や考古資料を収集し島の郷土史を調べていました。また、祖父素一氏、父宅市氏、ご子息の洋一氏と四代にわたり、島の歴史を大切に守っていた。



b-1_00304

資料名	手書き地図(1/1,200)(画像データ)
資料整理番号	b-1_00304
地域情報	歯舞群島 備考：多楽島
作成・発行時期	大正～昭和初期
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	19.4(H)×27.1(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	花咲郡歯舞村大字瑯瑯村(ごようまいむら)多楽島字カンバイソの一部(蒲原磯の海側28番地の後方、岡田辰二郎出願地の隣地)を示した地図で、海産物を干す目的で使用することが記載されている。この資料画像データを寄贈した福澤英雄氏の祖父にあたる福澤三次郎氏によって書かれたもので、土地にかかる証明書に添付されていたと考えられる手書きの地図。(1/1,200)



資料名 多楽島の地図 凡例・人名の記載あり
(画像データ)

資料整理番号 b-1_00312

地域情報 歯舞群島
備考：多楽島

作成・発行時期 1989年～2019年／平成期

寄贈者/入手元 福澤 英雄氏

資料の寸法 cm 42(H)×29.5(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 多楽島の地図 凡例・人名の記載あり



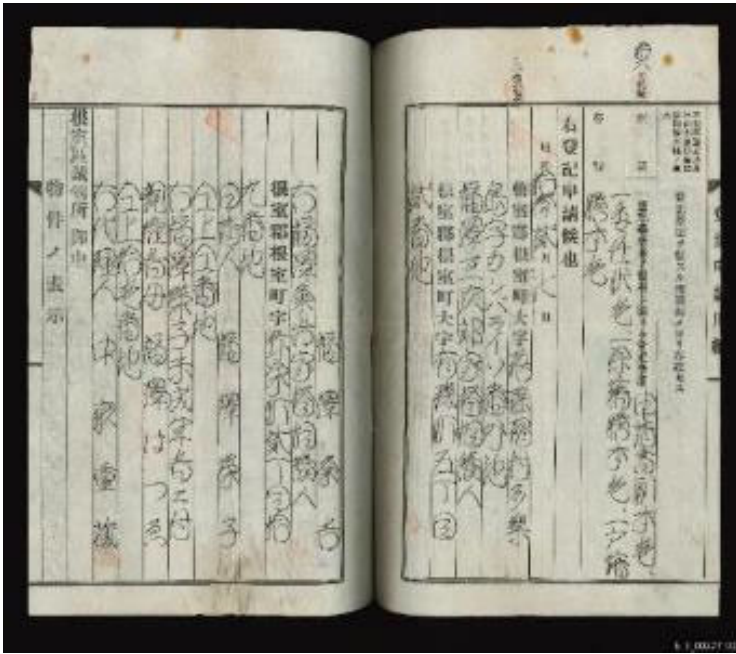
b-1_00563-01

択捉島中央部地図

- 12月に入ると、船舶の定期便は太平洋側の単冠湾にのみ入港し、郵便物は年萌村で陸揚げされた。
- その中の留別村と紗那村行きの郵便物は、まず馬橋で留別村の郵便局に運ばれた。
- 紗那村行きの郵便物は、もはや雪で馬は使えず、留別村からは運送スキーと犬橋で、峠の三区駅通所まで運ばれ、紗那郵便局の出迎え人に渡された。

b-1_00563-02

資料名	択捉島中央部地図(画像データ)
資料整理番号	b-1_00563
地域情報	択捉島 備考：
作成・発行時期	昭和初期・戦前
寄贈者/入手元	三上 洋一氏
資料の寸法 cm	20.9(H)×29(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	(写真説明は三上洋一様の原稿ママ) ・12月に入ると、船舶の定期便は太平洋側の単冠湾にのみ入港し、郵便物は年萌村で陸揚げされた。 ・その中の留別村と紗那村行きの郵便物は、まず馬橋で留別村の郵便局に運ばれた。 ・紗那村行きの郵便物は、もはや雪で馬は使えず、留別村からは運送スキーと犬橋で、峠の三区駅通所まで運ばれ、紗那郵便局の出迎え人に渡された。



資料名 所有権移転登記申請書(画像データ)

資料整理番号 b-3_00277

地域情報 歯舞群島
備考：

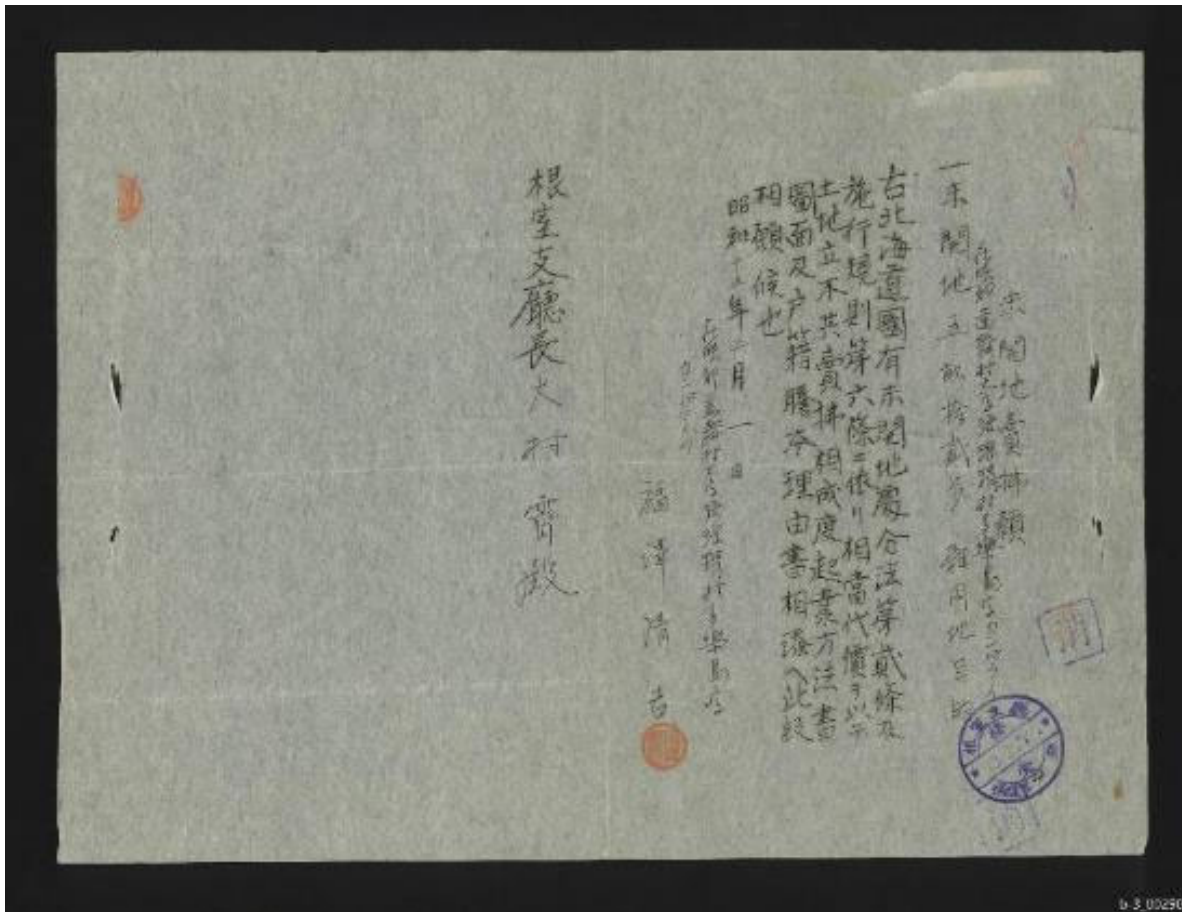
作成・発行時期 1935年2月23日／昭和10年2月23日

寄贈者/入手元 福澤 英雄氏

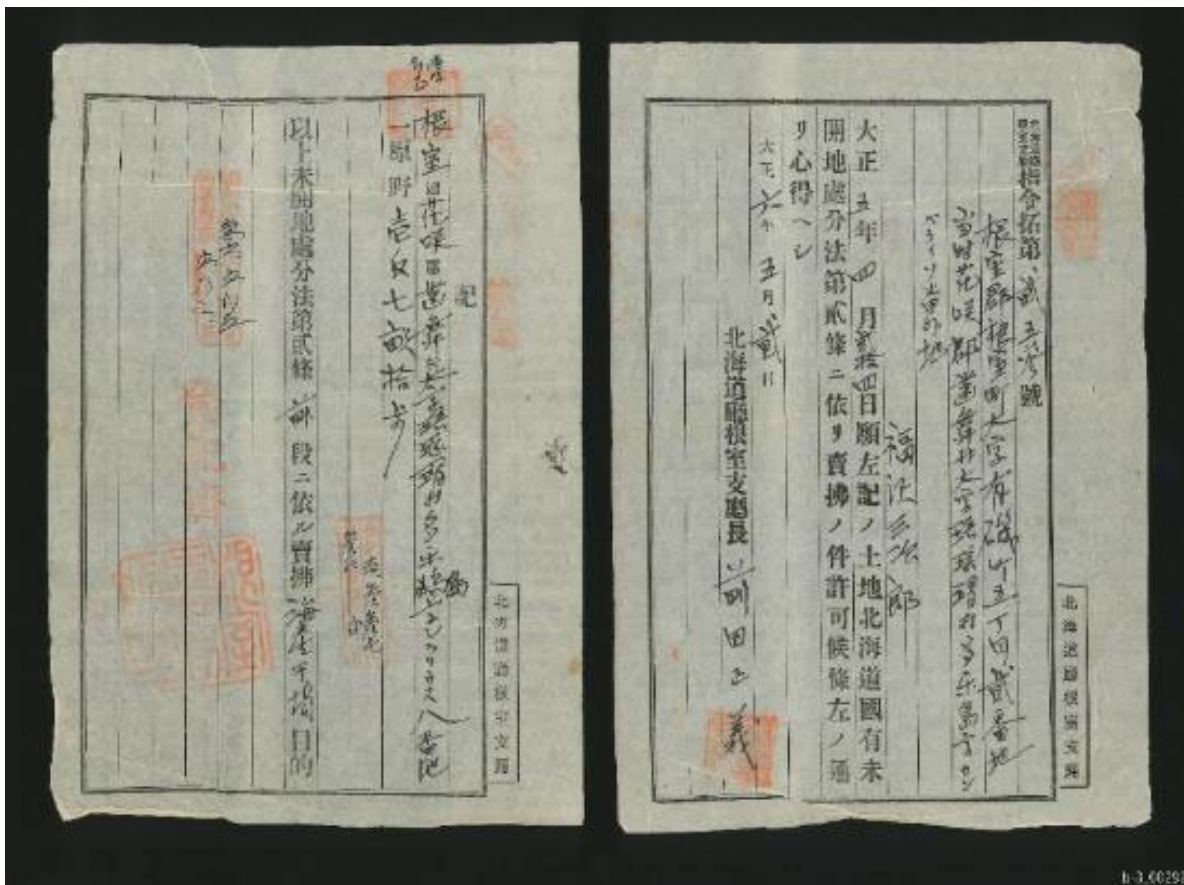
資料の寸法 cm 24.4(H)×16.5(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

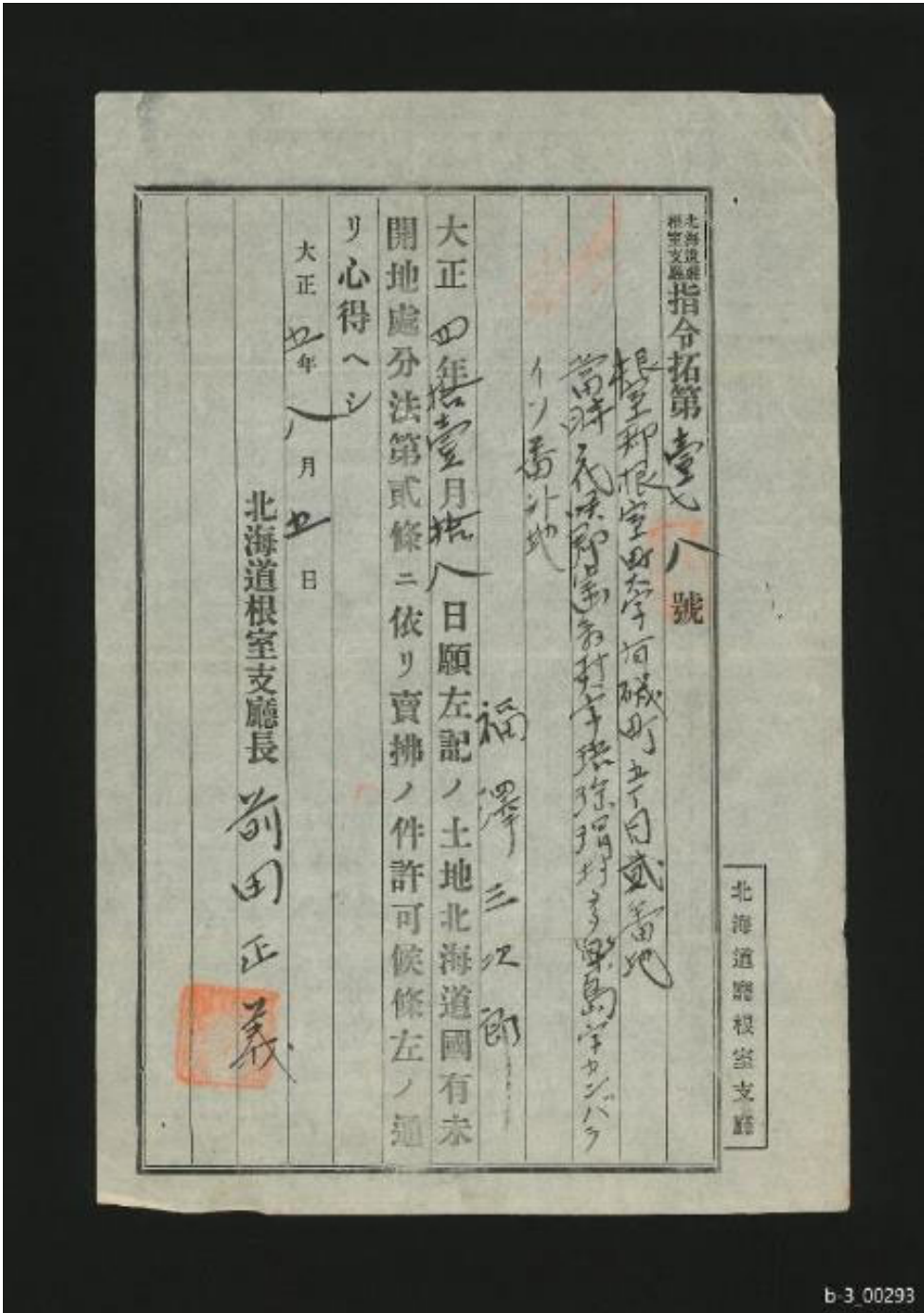
備考 所有権移転登記申請書(昭和10年2月23日)



資料名	未開地売拂願(画像データ)
資料整理番号	b-3_00290
地域情報	歯舞群島 備考：多楽島
作成・発行時期	1938年2月1日／昭和13年2月1日
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	24.6(H)×33(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	未開地売拂願 (昭和13年2月1日)

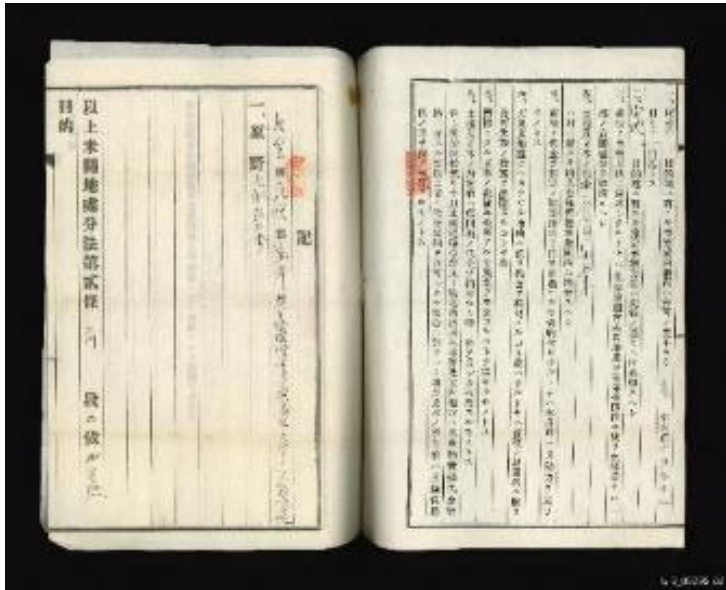


資料名	未開地売拂許可通知(画像データ)
資料整理番号	b-3_00292
地域情報	齒舞群島 備考：多楽島
作成・発行時期	1917年5月2日／大正6年5月2日
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	23.6(H)×16.1(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	未開地売拂許可通知 (大正6年5月2日 登記済印あり)、2枚組。

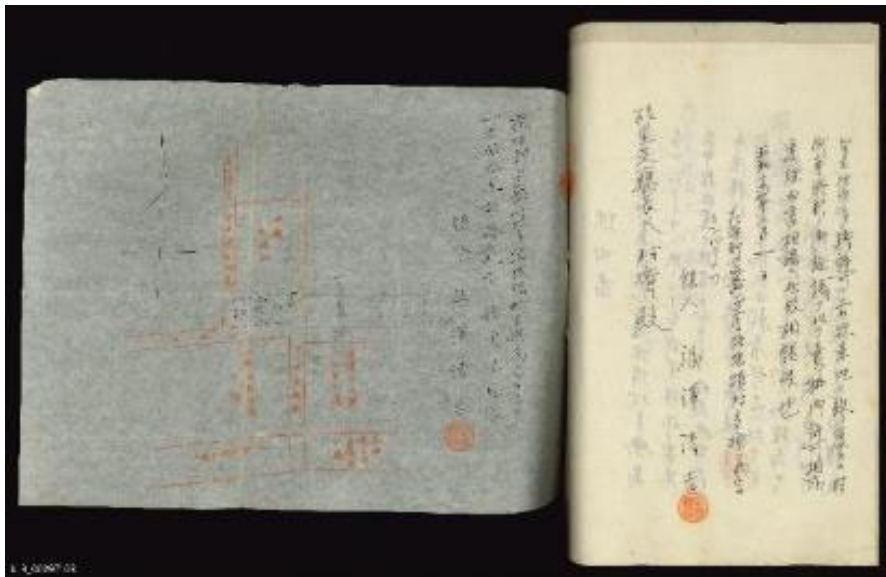
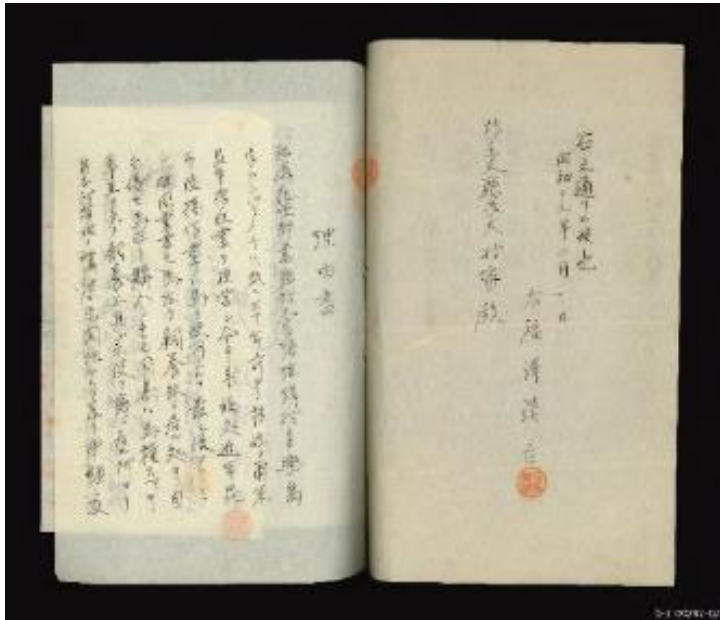


b-3_00293

資料名	未開地売拂許可通知(画像データ)
資料整理番号	b-3_00293
地域情報	歯舞群島 備考：多楽島
作成・発行時期	1916年8月5日／大正5年8月5日
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	24.2(H)×16.2(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	未開地売拂許可通知 (大正5年8月5日)



資料名	未開地を宅地目的に対する事業期間、事業方法などが記載されている(表書き)(画像データ)
資料整理番号	b-3_00296
地域情報	歯舞群島 備考：多楽島
作成・発行時期	1925年／大正14年
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	24.5(H)×16.5(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	未開地を宅地目的に対する事業期間、事業方法などが記載されている(表書き)



資料名 事業方法書(画像データ)

資料整理番号 b-3_00297

地域情報 歯舞群島
備考：多楽島

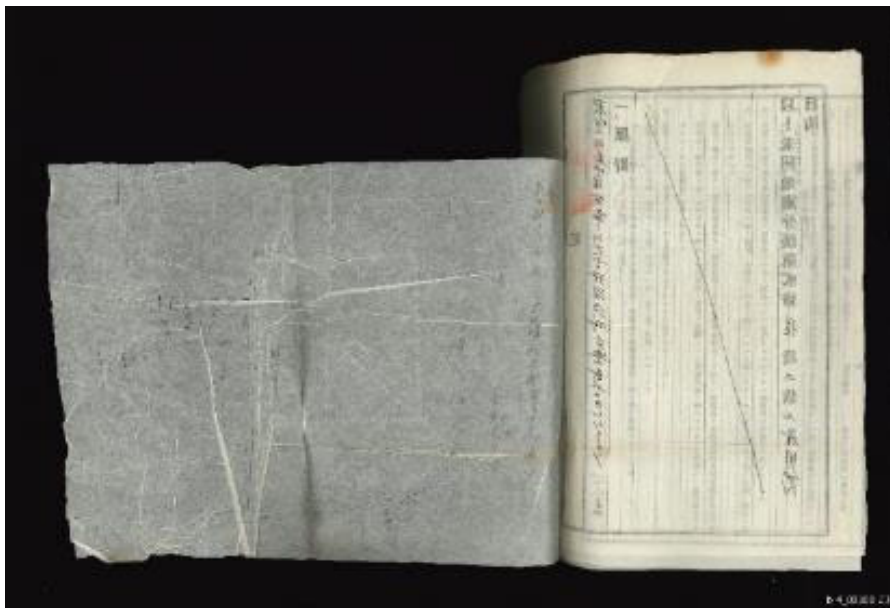
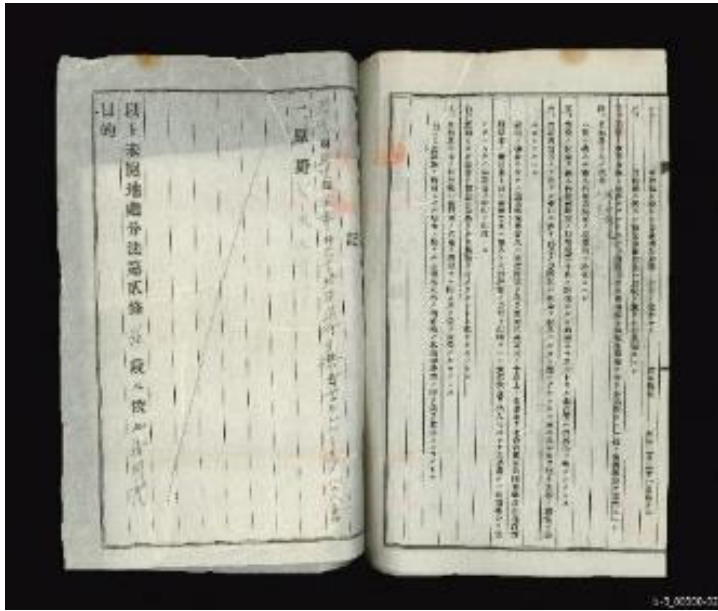
作成・発行時期 1938年2月1日／昭和13年2月1日

寄贈者/入手元 福澤 英雄氏

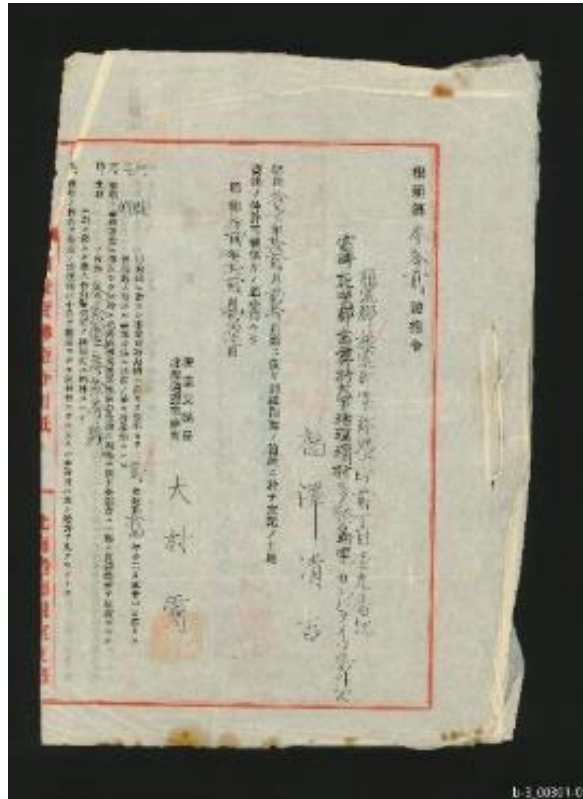
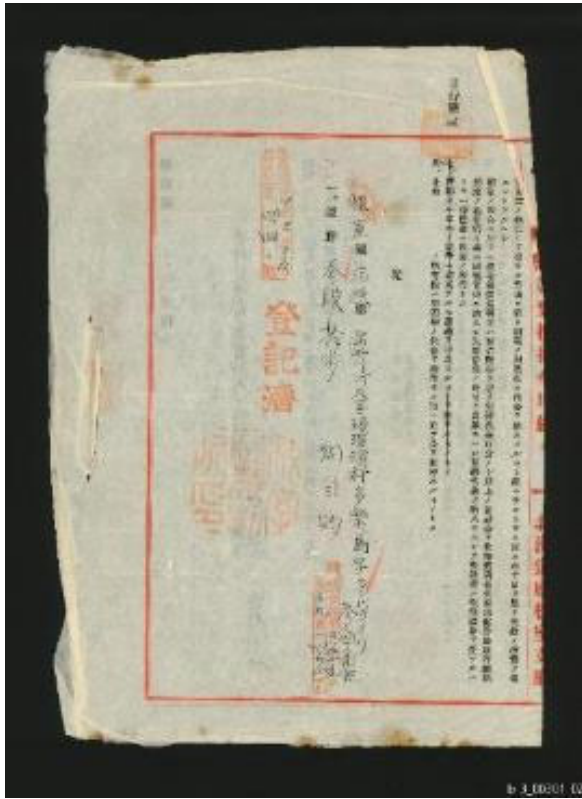
資料の寸法 cm 25.1(H)×29(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

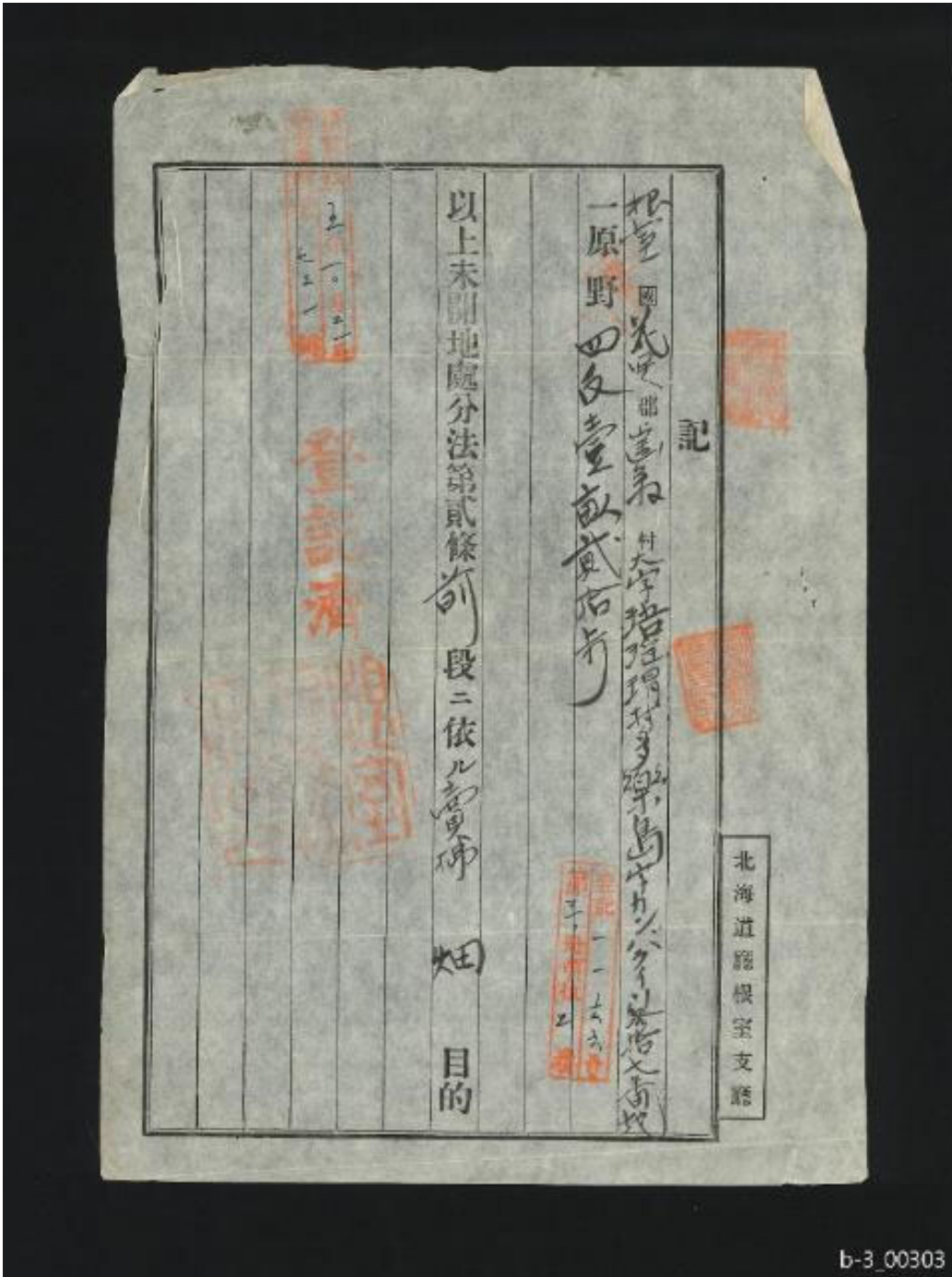
備考 花咲郡歯舞村大字瑠瑠村(ごようまいむら)多楽島字カンバイソ(蒲原磯126番の跡)の用地にかかる「事業方法書」とあり、30年来この土地を使ってきており、昆布の水揚げに馬を用いるようになったため、雑用地として周囲に鉄柵をはり、牧草の置き場及び牧草地に用いたいということを示している。



資料名	土地及び立木賣拂許可書(画像データ)
資料整理番号	b-3_00300
地域情報	齒舞群島 備考：
作成・発行時期	1933年4月28日／昭和8年4月28日
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	24.4(H)×26.1(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	添付図面の土地の雑用地目的に対する代金納入方法などが記載されている(中面)／別紙図面の土地及び立木の売拂許可が記載されている(表書き 昭和8年4月28日)

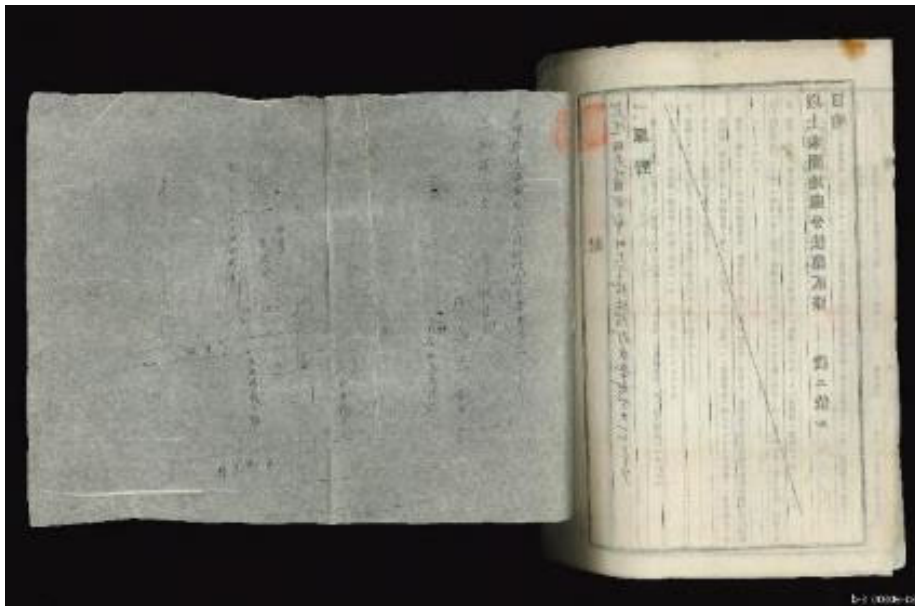
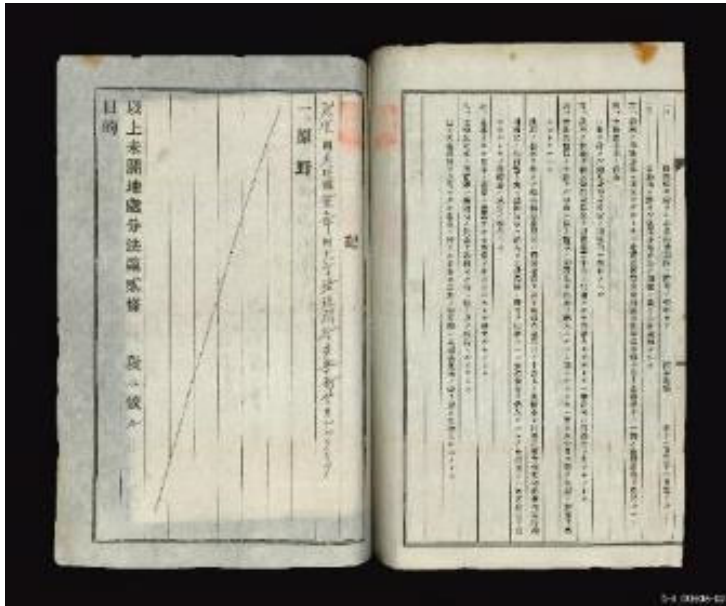


資料名	土地賣拂許可書(画像データ)
資料整理番号	b-3_00301
地域情報	齒舞群島 備考：多楽島
作成・発行時期	1937年12月21日／昭和12年12月21日
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	27(H)×18.7(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	別紙図面の土地の売拂許可及び土地を畑目的に対する事業期間、事業方法などが記載されている(昭和12年12月21日)

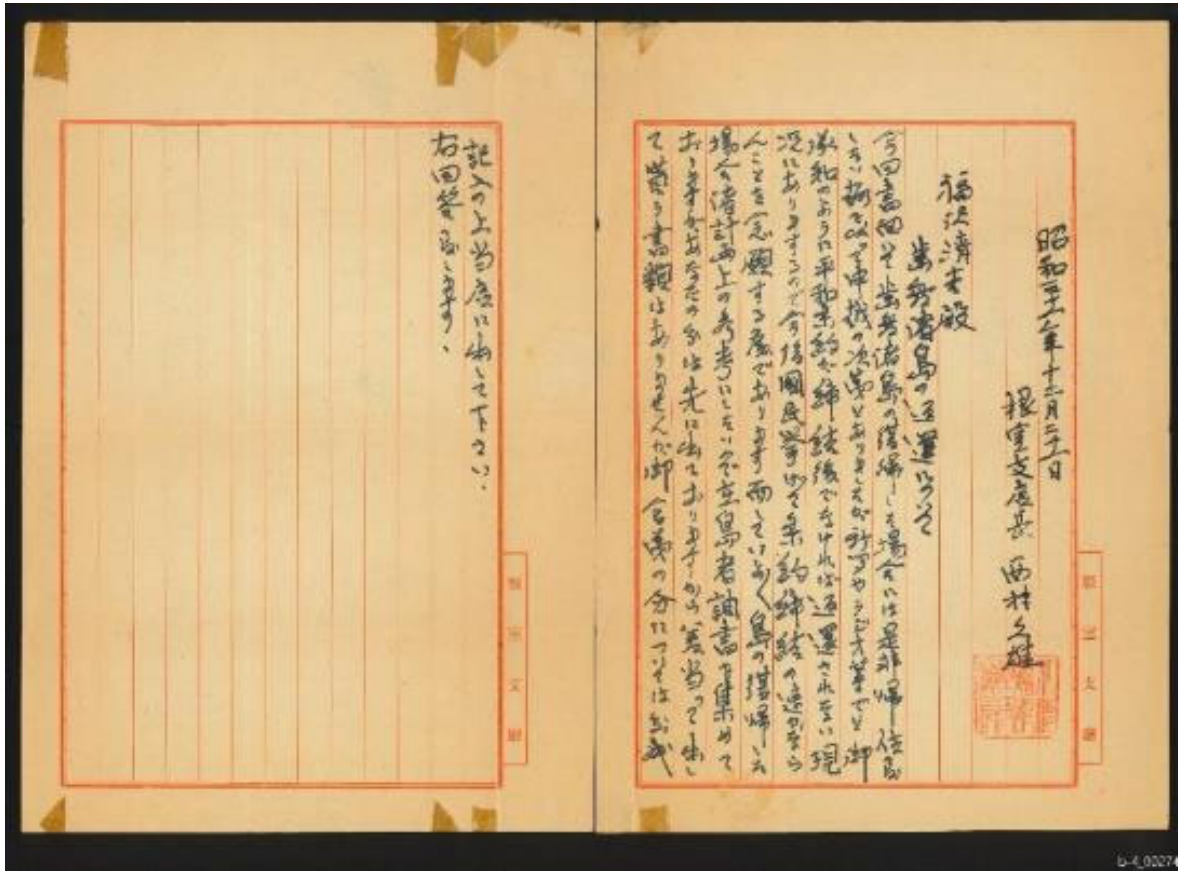


資料名	記載されている土地を未開地処分法による売拂畑目的として登記済みという内容(画像データ)
資料整理番号	b-3_00303
地域情報	歯舞群島 備考：多楽島
作成・発行時期	大正期
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	24(H)×16.5(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	記載されている土地を未開地処分法による売拂畑目的として登記済という内容 (大正5年10月21日 登記済印あり)

b-3_00303



資料名	土地及び立木賣拂許可書(画像データ)
資料整理番号	b-3_00306
地域情報	齒舞群島 備考：多楽島
作成・発行時期	1933年3月／昭和8年3月
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	24.3(H)×26.6(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	別紙図面の土地及び立木の売拂許可が記載されている(表書き)／添付図面の土地の雑用地目的に対する代金納入方法などが記載されている(中面)／別紙地図



資料名	根室支庁長 西村久雄から福澤清吉へ「歯舞諸島の返還について」の手紙(画像データ)
資料整理番号	b-4_00274
地域情報	歯舞群島 備考：
作成・発行時期	1956年12月21日／昭和31年12月21日
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	25.7(H)×18.3(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	根室支庁長 西村久雄から福澤清吉へ「歯舞諸島の返還について」の手紙(昭和31年12月21日)用紙2枚にわたり手書き。

精 算 書

昭和三十五年十一月一日

福 沢 英 雄 殿

齒舞漁業協同組合根室出張所

No. _____ 昭和15年 11月 31日

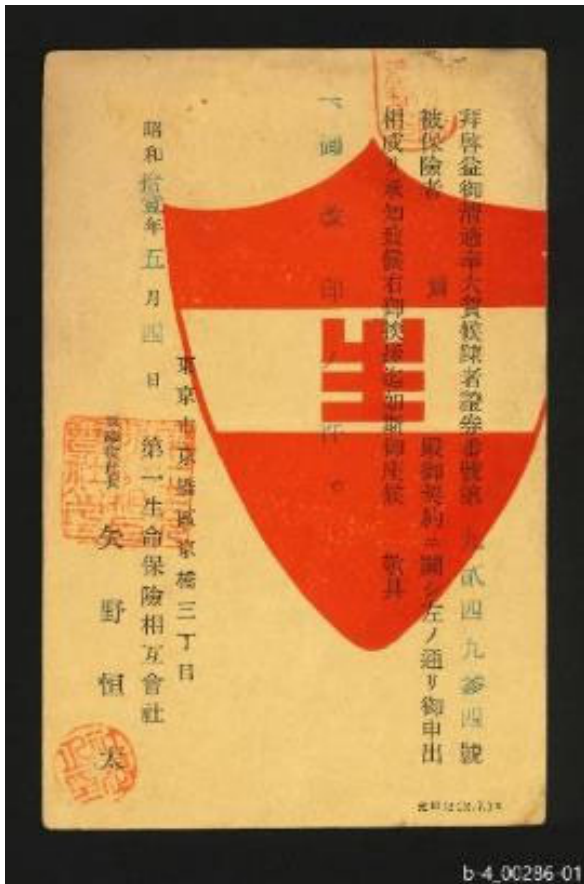
電話五六六番
番付出張一九三四七番

月 日	内 容	数 量	買 入 単 位	買 入 単 位 価	仕 入 単 位 価	差 引 額	高
6/11	香油	5		1220			
7/12	"	5		1220			
	灯油	1		150			
	味噌	1		1000			
	正油	1		120			
	不食	70		2200			
	コメ	20	120	2400			
	ソート	2		700			
	ソート	1		400			
10/25	灯油	1		150			
11/11	薪	2	1000	2000		13133	
合 計							

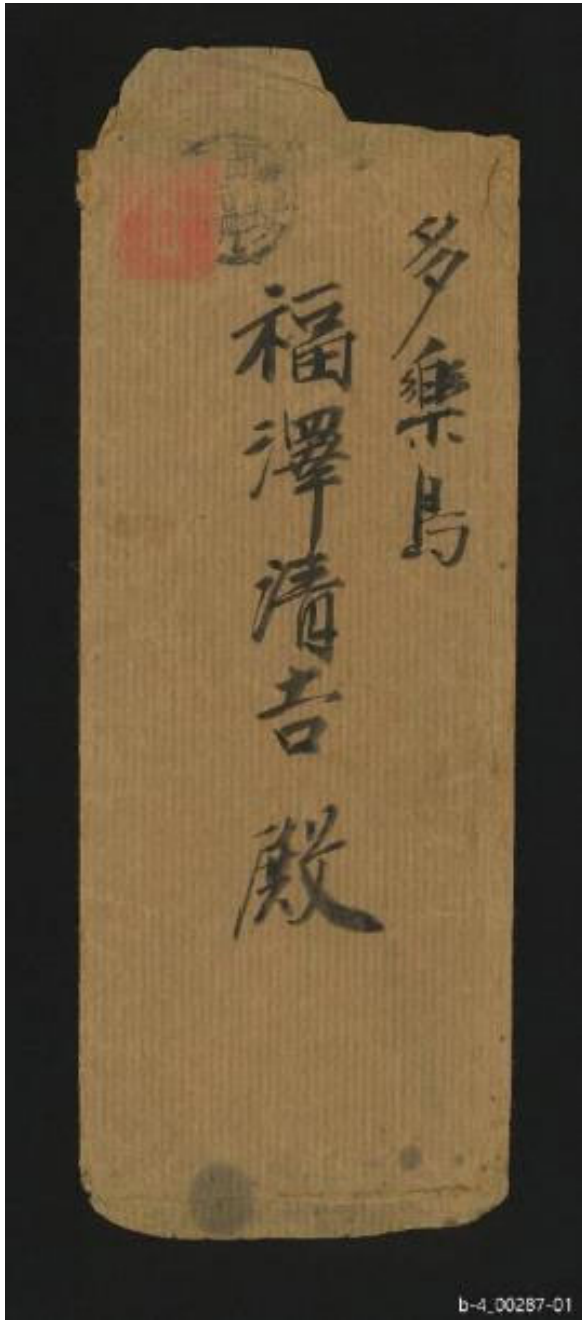
上記ノ通り精算候也

b-4_00284

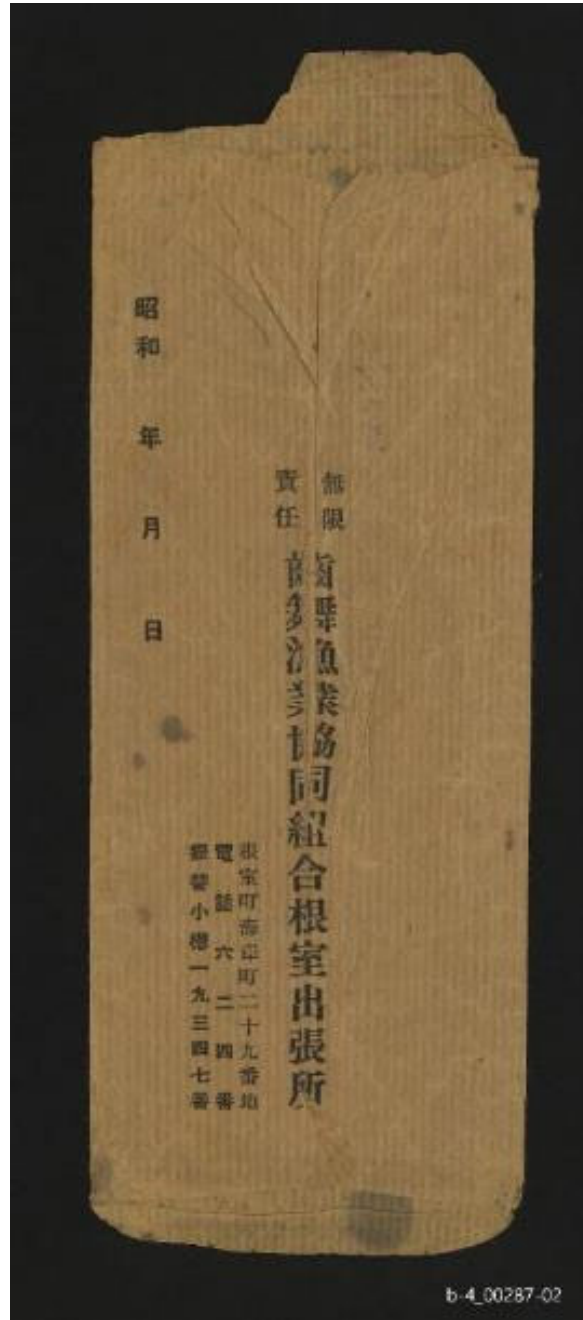
資料名	精算書(画像データ)
資料整理番号	b-4_00284
地域情報	齒舞群島 備考：
作成・発行時期	1940年11月30日／昭和15年11月30日
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	25(H)×18.5(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	精算書(昭和15年11月30日 齒舞漁業協同組合根室出張所)



資料名	証券契約の改印について承知するという内容のはがき(画像データ)
資料整理番号	b-4_00286
地域情報	歯舞群島 備考：
作成・発行時期	1942年6月29日／昭和17年6月29日
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	14(H)×9(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	証券契約の改印について承知するとい内容のはがき(昭和11年5月4日 第一生命保険相互会社)

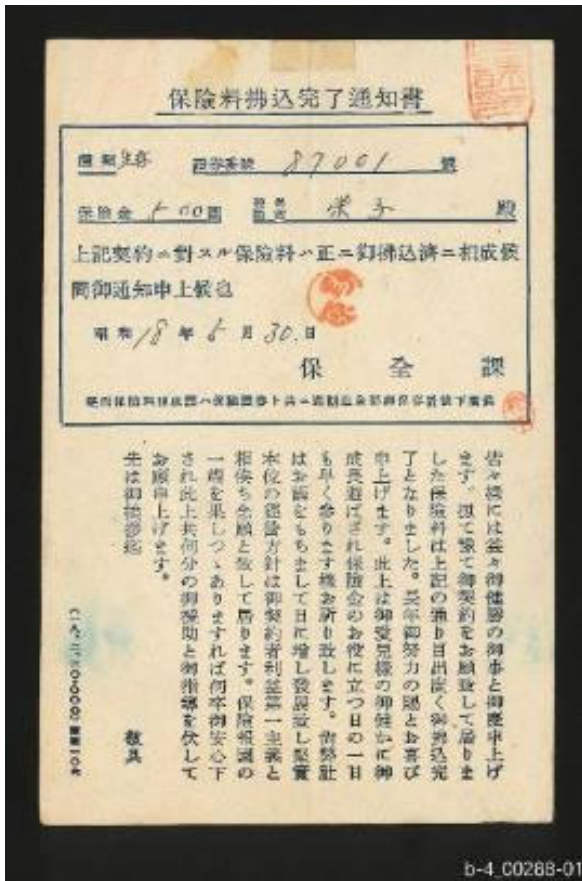


b-4_00287-01

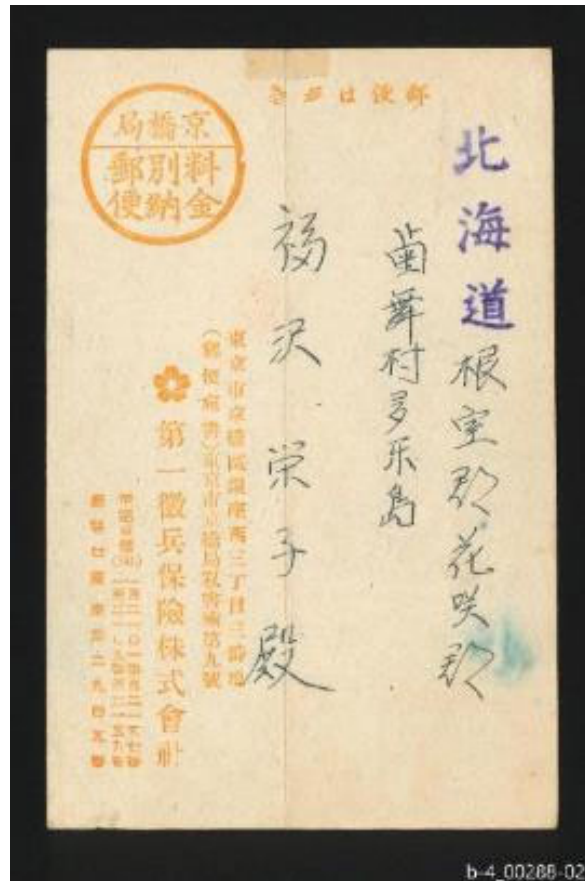


b-4_00287-02

資料名	福澤清吉宛 齒舞漁港共同組合根室出張所からの封筒(画像データ)
資料整理番号	b-4_00287
地域情報	齒舞群島 備考：
作成・発行時期	1936年5月4日／昭和11年5月4日
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	22.5(H)×8(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	福澤清吉宛 齒舞漁業協同組合根室出張所からの封筒



b-4_00288-01



b-4_00288-02

資料名	福澤栄子宛 保険料振込証明通知はがき (画像データ)
資料整理番号	b-4_00288
地域情報	歯舞群島 備考：
作成・発行時期	1943年5月30日／昭和18年5月30日
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	14.1(H)×8.7(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	福澤栄子宛 保険料振込完了通知書 はがき (昭和18年5月30日 第一徴兵保険株式会社)



b-4_00539

資料名	生存保険料領収書 No.553 (被保険者 福澤栄子)(画像データ)
資料整理番号	b-4_00539
地域情報	歯舞群島 備考：歯舞村
作成・発行時期	1936年6月19日／昭和11年6月19日
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	10.5(H)×15.1(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	福澤英雄氏の父福澤清吉には若くして結核により逝去した福澤象吉という兄がおり、その妻が福澤英雄氏の母はつゑ（初枝とも記載されることがある）であった。象吉の死後に弟の清吉と再婚し、福澤英雄氏が生まれるが、象吉とはつゑの間には栄子と慶子という娘がおり、福澤英雄氏と姉弟として育った。象吉は長女の栄子に対して将来の資金として保険の積立をしており、本資料は象吉名義で最後に払い込まれた領収書である。象吉の逝去後、保険契約者は象吉から長子であった栄子に変更され払い込みが続けられた。戦後の貧困の中、栄子は中学卒業後に奉公に出たが、ほどなく奉公先から危篤の知らせがあり、母はつゑが駆けつけて看取ることができたものの、最後の情景は福澤家にとって痛みを伴う記憶として残っている。



平成30年3月5日

『浜に生きる』

島野一郎、大橋吉太郎

○国後島脱出=終戦の秋家族13人、キナリ海岸より夜小舟を操り出

し本船に引かれ根室漁港、弁天島へ上陸までのようす。

1ヶ月間弁天島で暮らし、本別海西別川河口へ上陸。

本別海へ定住の足がかりを語る。

○少年期 =大家族が寄り住まいの中細々と漁業を営む事が出来る。

小学校、中学校教育のようすと、自分の将来への道。

進路が決まり――Uターンまでの過程。

○海と山の関わり、西別川が海に果たす役割、水資源が町を潤す。

その水資源、西別川取水計画勃発、計画阻止に翻弄。

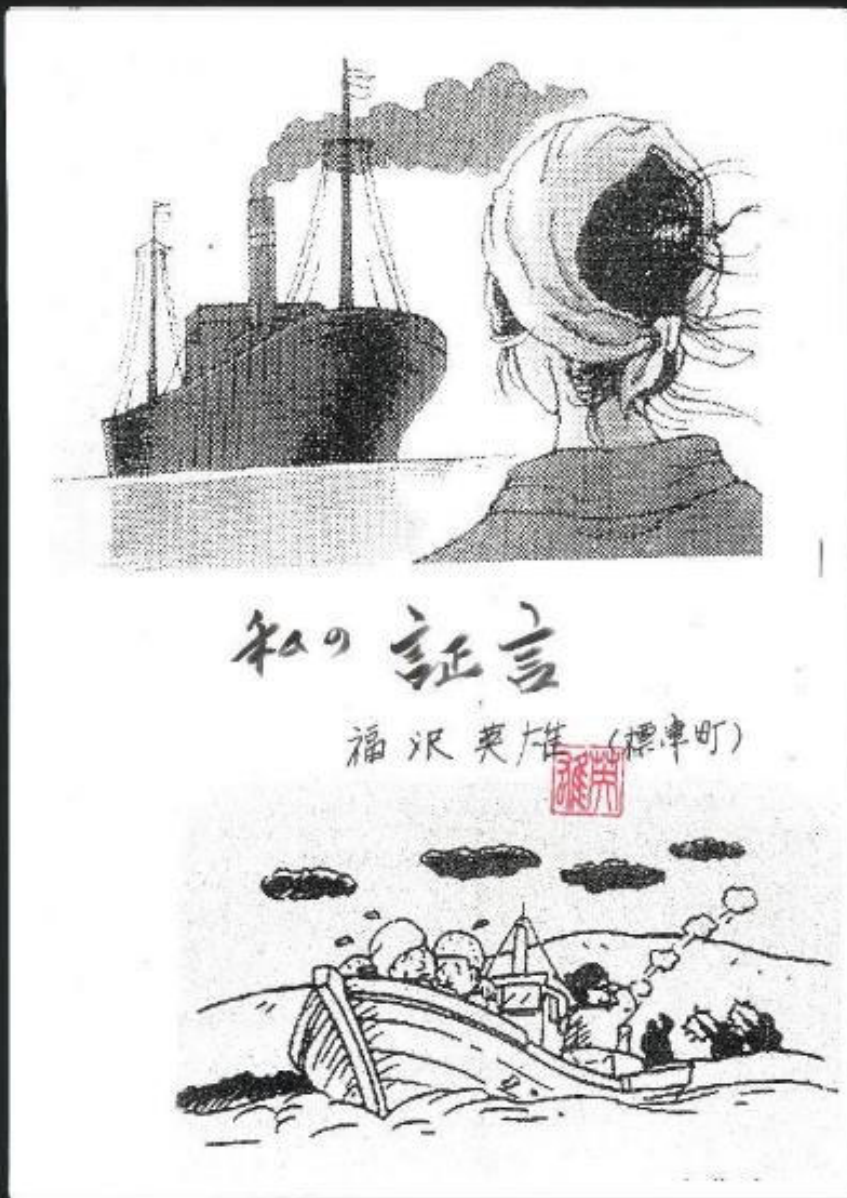
○結婚そして漁業後継者を遺して。

海に貯蓄をする育てる漁業への道のり、(ホッキ資源)

漁業者は協同販売で仲買人任せの売(努力は鮮度保持)

E-9_00002-02

資料名	浜に生きる
資料整理番号	b-8_00002
地域情報	国後島 備考：
作成・発行時期	2018年3月5日／平成30年3月5日
寄贈者/入手元	大橋 吉太郎氏
資料の寸法 cm	29.7(H)×21(W)×0.2(D)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	国後島脱出から西別川河口へ難民として上陸してから現在までのあらまし(発表スライド及びシナリオ) ・A4 17枚 ・写真含む(白黒) 【寄贈者 大橋 吉太郎氏について】 大橋家は国後島泊村キナシリで漁業を生業に家族13名で暮らしていた。氏の祖父は長く暮らしたキナシリを去りがたく遅い脱出となった。当時氏は5歳、4歳年上の兄・一太郎氏、2歳年下の弟の彦三氏がいた。脱出から2年後、貧困生活の中で氏の母は出産時に亡くなり、祖母と叔母に育てられた。脱出時の様子は手記に綴られている。現在も親子3代で漁業を営んでいる。



b-8_00311

資料名	冊子 私の証言(複写)
資料整理番号	b-8_00311
地域情報	その他 備考：北海道
作成・発行時期	1989年～2019年／平成期
寄贈者/入手元	福澤 英雄氏
資料の寸法 cm	29.5(H)×20.9(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	千島連盟 標津支部(語り部)福澤 英雄氏の離島当時の家族構成や断片的な年少期の記憶を綴った「ふるさとの年少記憶記」および生まれ育った歯舞群島の多楽島に終戦後2週間ほどでソ連軍が上陸した様子や戦後北方四島交流事業を通じて生じた気持ちの変化を綴った「戦後76年の記憶をたどって」と題した手記を含む冊子。 ・A4コピー ・6ページ 【寄贈者 福澤英雄氏について】 福澤家は歯舞群島多楽島でコンブ業を生業に暮らしていた。祖父の代から徐々に未開地を開拓して生活基盤を築いたが、終戦後まもなく一家7人で標津に引き揚げ、貧困生活を余儀なくされた。引き揚げ前後の様子が手記などに綴られている。氏は現在も千島連盟標津支部の語り部をしている。